

平成 2 5 年 1 2 月 1 8 日

報 告 書

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

那須塩原市議会 第 2 班班長 高久 好一
記録者 藤村由美子
齊藤 誠之
若松 東征
人見 菊一

下記のとおり報告会を開催いたしましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 平成 2 5 年 1 1 月 1 3 日（水）午後 1 時 3 0 分～ 3 時 3 0 分

2. 会 場 鍋掛公民館

3. 担当議員と役割

【担当議員】

高久 好一 （班長）
玉野 宏 （副班長）
櫻田 貴久 （司会者）
眞壁 俊郎 （定例議会審議報告）
吉成 伸一 （議会活性化検討特別委員会活動報告）
玉野 宏 （放射能対策検討特別委員会活動報告）
藤村 由美子 （記録）
齊藤 誠之 （記録）
若松 東征 （記録）
人見 菊一 （記録）

【応援議員】

相馬 剛、大野 恭男、山本 はるひ、植木 弘行

4. 参 加 者 市民 1 5 名（男性 1 4 名、女性 1 名）
参加議員・職員など 2 5 名

5. 主な意見・要望

質疑・応答

< 通年議会 >

Q：市民の側から陳情とか請願などをいつでも出せるという意味でとてもいいことだと思うが、これを採用している他県、あるいは他市町村の議会はあるのか。

A：先進的な事例として栃木県議会がすでに導入をしている。小さな町では山形県白老町などいくつか事例がある。通年議会で有れば専決処分が減るので、議会としてしっかり検討したい。

Q：陳情書とか請願書とかはいつでも出せる方向で検討しているのか。

A：常に議会が開催されているというとらえ方をするので、当然受付も常に随時行うことになる。

< 放射能 >

Q：除染がずいぶん進んでいるようだが、その成果や、やってよかった事例があれば聞きたい。

A：数値の高かった学校関係・公共関係は早めにやったので数値が落ちて良かった。地域によって効果のあるところとそうでないところがある。今後さらに努力していこうということが執行部の考えである。

意見交換

< タクシー券 >

Q：なぜ反対したか聞きたい。

A：6月議会では継続審査となりましたが、9月議会は15対10で採択となりました。議会として市の方に議会の議決を尊重してしっかりと対応するよう申し入れている。

< 板室温泉グリーングリーン >

Q：お金がないと掃除もできないので有料にしたらどうか。悪臭があり県外から来た人へのイメージが悪い。

A：要望のみで回答なし

< 議会だより >

Q：議案に対する賛否の状況のページの下にある、「賛成」「反対」「欠席」とあるが、「不在席」というのはどういうことか。

A：例えば、決を採る時に腹痛などで一時的に席を外した場合に不在席となる。

<放射能>

Q：子どもたちの健康診断の中に甲状腺がんの検診も入れてほしいので、議会から要望してほしい。

A：放射能対策検討特別委員会で検討し、要望に応えるよう努力したい。

Q：放射能が降ったことで金銭的な被害を受けた市民にとって、裁判をするとなるとなかなか大変なので、市民が簡単に損害賠償請求できるように、相談に乗るとか弁護士費用を負担してくれるよう、執行部に申し入れてほしい。

A：除染を個人でやった部分に対してはなかなか難しいが、報告会の検討課題として持ち帰り検討したい。

<鍋掛小学校グラウンド>

Q：ボールが跳ね返るようなネットをつけてほしい。

A：要望として何う。

<河畔公園>

Q：芝生、ネット、ゴミ、駐車場等の管理状態を、議員も見に行ってほしい。

A：議員もボランティア団体と一緒にゴミ拾いをやっています。その他の点については確認して対応したい。

<その他>

Q：市議会議員が一番困っている共通認識の課題は何か。

A：市民の皆さんの要望に応えきれないというところが一番の悩みだと考える。

<予約ワゴンバス>

Q：予約が前日の午後6時までと聞いているので、当日の朝、急病などで突発的にバスを利用したい場合どうすれば利用できるのか知りたい。

A：持ち帰り検討したい。

6. 報告会の運営について

○来場者の資料をめくる時間が必要であり、市民の資料のページに合わせるとわかりやすい。

○報告を短く、意見交換を長く時間配分した方がよい。

- 1 報告ごとに質問を受けてはどうか。
- 昨年も出た意見だが、説明が長すぎた。
- 報告会を柔らかくする。
- 開催場所に合わせて報告を用意し、要望も事前に調べる。
- 議員側の準備、地域向けにする。
- 開催場所にある問題を提起してはどうか。
- 議員、人数、周知方法、呼び込み等の検討が必要。
- ポスターにもっと内容を入れられないか。
- 参加者の1割が女性、市民の意見を吸い上げやすくする工夫が必要。
- 多くの市民に来て欲しい、議会だよりで知っている人が参加している。
- 市民の意見を多くして投げかける部分があれば、市民が応えてくれやすいと思う。
- 多くの市民に参加してもらうことが大事、回を重ねることで解決できる問題が多くある。
- 概ね、両方の報告会場とも30人位になった。
- 開催場所6ヵ所、時間を2通りとしたが、第2班は問題なかった。
- アンケートでは、参加した市民の69%が議会報告会を評価している。
- 意見に「ありがとうございます」で終わらせないで、正確に誠実に答える。
- 決め台詞「持ち帰り検討します」をもっとうまく使った方が良い。